

連携診療所向け月刊情報誌

TO



架け橋

2022.02

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

CONTENTS

- ①ご挨拶 / 理事長 大西恭子
- ②ご挨拶 / 病院長 田中源重
- ③第一東和会病院における、がん治療の取り組みについて
- ④「第21回大阪病院学会」優秀演題
- ⑤東和会いばらき病院のご案内

お問合せ 第一東和会病院・第二東和会病院 地域連携室

TEL : 072-671-1118(第一) FAX : 072-671-1090(第一)
受付時間 : 平日 8:30~19:00 / 土曜日 8:30~17:00

時間外・休日 : 072-671-1008(代表)

Mail : renkei@towa-med.or.jp



令和4年の新年を健やかに迎えられましたことと心からお慶び申し上げます

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるい、度重なる緊急事態宣言が発出されました。第一東和会病院はワクチン接種を始め、帰国者接触者外来、地域外来検査センター、発熱外来、そして重症及び軽症・中等症コロナ患者の治療を積極的に行って参りました。診療所の先生方も発熱患者の診療や検査、ワクチン接種にご協力ください、共にコロナと闘つた1年であったと感じます。かかりつけ医の先生方をはじめ、地域の保健・医療・介護・福祉等に関わっておられる皆さま方に大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

ご挨拶

医療法人東和会
理事長 大西 恭子



昨年は新型コロナウイルス感染症により病院機能を一部停止せざるを得ない状況を経験し、不測の事態にも揺るがない盤石の体制が必要であると痛感しました。職員を守りながら医療を提供し続けるために、守りの運営として、医療安全、感染対策、BCPの体制強化は重要です。

また、職員が安心して何でも相談できる環境づくりのために、部門内、部門間での十分なコミュニケーション、良好な関係構築に重点を置きたいと思っています。壬寅は新しく立ち上がる、成長する年だそうですから、新しい医療体制への転換点になるよ

う頑張ります。

今年も最大の課題は新型コロナウイルス感染症対策であると思われます。治療薬も開発され、3回目ワクチン接種も前倒しで取り組み、コロナ医療と通常医療の両立ができるよう、ステージに合わせ柔軟に対応して参ります。

今後も地域における当院の役割を再認識し、地域の皆さまが安心して安全な医療を受けることができる病院づくりに邁進していく所存です、かかりつけ医の先生方と共に、地域医療を守っていきたいと考えております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(2020年1月変更)

ご挨拶

医療法人東和会 第一東和会病院
病院長 田中 源重



ます。今年も新型コロナウイルスを避けることは不可能ですが、恐れすぎる必要もないと思つております。

さらに、国産ワクチンの開発も進んでおり、中和抗体療法や経口の治療薬など、1年前まで

令和4年となり早一ヶ月が過ぎました。まだ寒い日々が続きますが、最近は春近しの感があります。

世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症が流行して2年以上経過しましたが、残念ながら現状では終息とまで至つておりません。当院でも新型コロナウイルス感染症患者の入院加療、発熱外来、ワクチン接種などを保健所の指導を受け行つておりますが、今後も継続していきたいと思います。現在、流行しているオミクロン株の感染力は非常に強いと言われておりますが、重症化に関しては明らかに前回流行したデルタ株より低いと報告されています。

最後に皆さまのご健康とご癒し、12月に実地調査を受けました。従来の急性期医療、地域医療支援病院としての機能を維持発展しながら、今後はがん患者に対する侵襲的治療、化学療法、緩和医療などを多職種で対応していく予定です。より一層の皆さまのご支援、ご指導を賜りますようによろしくお願い致します。

最後に皆さまのご健康とご癒し、12月に実地調査を受けました。従来の急性期医療、地域医療支援病院としての機能を維持発展しながら、今後はがん患者に対する侵襲的治療、化学療法、緩和医療などを多職種で対応していく予定です。より一層の皆さまのご支援、ご指導を賜りますようによろしくお願い致します。

最後に皆さまのご健康とご癒し、12月に実地調査を受けました。従来の急性期医療、地域医療支援病院としての機能を維持発展しながら、今後はがん患者に対する侵襲的治療、化学療法、緩和医療などを多職種で対応していく予定です。より一層の皆さまのご支援、ご指導を賜りますようによろしくお願い致します。

第一東和会病院における、がん治療の取り組みについて

第一東和会病院 緩和ケアチーム

内視鏡外科
麻酔科
千野 佳秀
高橋 陵太

| 表② 2020年 主な悪性腫瘍手術 | 件数 |
|-------------------|-----|
| 膀胱悪性腫瘍手術(経尿道的) | 176 |
| 大腸内視鏡的手術(ESD含む) | 67 |
| 胃内視鏡的手術(ESD含む) | 40 |
| 食道内視鏡的手術(ESD) | 8 |
| 腹腔鏡下腸切除(結腸・直腸) | 62 |
| 腹腔鏡下胃切除(全摘含む) | 16 |

緩和ケア部門の整備

平素より地域の開業医の先生方には大変お世話になり有り難うございます。

第一東和会病院では、これまでも主に消化器系、泌尿器科系のがん治療に積極的に取り組んでおりましたが、総合的にさらなる充実した体制を整備致しましたので、これまでの診療実績とともにご報告いたします。

悪性腫瘍手術実績 (2018年~2020年)

2018年382件、2019年408件、2020年430件と、悪性腫瘍に関する手術件数は増加傾向です(表①・表②)。

周術期口腔ケアの実施
気管挿管時の歯牙損傷を予防するためのマウスピース作成、術後創部感染の減少、口腔細菌による合併症予防、誤嚥性肺炎の予防などを目的とし、2020年7月より歯科口腔外科を新設しています。

クリニックパスの整備
症例数の多い消化器がん・泌尿器がんを中心に整備し、医療チー

ムでの共有、治療の標準化を進め、患者さまにも治療過程を示すことで安心して治療を受けて頂くようにしました。

キャナーサーポードの設置
診療方針決定に難渋する患者さまを対象に、各専門領域の医師、多職種の医療従事者が包括的に協議し適切な方針を決めるためのカンファレンスを定期的に開催しています。

緩和ケアチームを組織し、「がんと診断された時から緩和ケアが始まる」という原則に基づいて、緩和ケアに関わる医師(外科専門医・ペインクリニック専門医、精神科専門医)、看護師(緩和ケア認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師)、音楽療法士を含むリハビリテーション科、栄養科、社会福祉士が中心となつて患者さまに寄り添い、治療に伴う様々な問題点をサポートできるようにしています。

新たに緩和ケア外来の設置(第1・3土曜)、がん相談支援センターの設置を行いました。また、がん患者同士の交流の場となる、がん患者サロンの運営(年3回)を行っています。

以上甚だ簡単ではございますが、当院でのがん治療の取り組みについてご紹介させて頂きました。今後もより良いがん治療を行うべく取り組んで参りますので、何卒よろしくお願いいたします。

「第21回大阪病院学会」優秀演題

医療者・患者家族を含めたCVポート感染予防の必要性

第一東和会病院 看護部 山本 美蘭

はじめに

国は、団塊の世代が75歳を迎える2025年を目処に医療、介護、住まい、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その中で在宅でのケアを患者さまやそのご家族、訪問看護師などが行つたため、入院中から看護師が在宅ケアの教育を行つ等の介入が必要です。

当院ではCVポート(以下ポート)を作成した場合、自宅退院する患者さまに対し看護師が自己管理の指導を行つています。ポートは様々なメリットがある一方で、感染による敗血症などで重篤な状態に陥ることもあります。これらを踏まえ当院でのポート管理の実態と課題を明らかにするため、本研究に取り組みました。

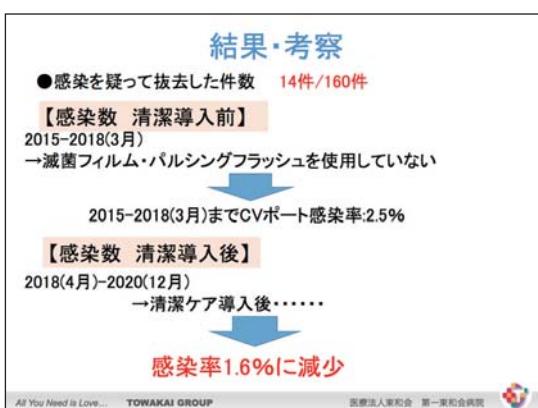
研究方法

2010-10-2020年12月までの間、当病棟において抗癌剤治療目的でポートを留置している患者さまのうち、臨床的にポート感染を疑い抜去した患者さまが対象。清潔ケア導入前後での感染率を比較しました。対象期間内のポート造設件数は160件でした。

結果・まとめ

対象期間内の当病棟でのポート造設件数のうち、感染を疑つて抜去した件数は14件でした。従来の清潔ケア(手洗い、手指消毒の徹底、手袋装着の徹底)に加え、2018年から滅菌済み保護フィルムの使用やパルシングフランジ(断続的に生理食塩水を注入してカテーテル内に水の乱流を起こし、カテーテル内腔の洗浄効果を高める方法)を取り入れました。清潔ケア導入前の感染率は2.5%であったのに対し、導入後の感染率は1.6%まで減少しました。

ポートを留置する患者さまの多くは全身状態が悪く、抵抗力が低下しているため感染リスクが高まります。人為的感染による患者さまの苦痛を減らすため、在宅でのケア方法の確認や指導介入を行い、入院から在宅までの継続看護を根付かせ感染率減少を目指していきたいと思います。



おらせ

東和会いばらき病院(旧 日翔会病院)のご案内

令和4年1月1日より「東和会いばらき病院」と名称を変更し東和会グループとして再出発いたしました。

障害者病棟及び一般急性期の患者さまの入院治療をお受けしております。

また救急搬送を受け入れ茨木市の救急患者さまの診療に協力できることを目指に取り組んでおります。

第一東和会病院、第二東和会病院とも連携を取り、地域医療に貢献できるように尽力いたしますので今後ともよろしくお願ひいたします。

東和会いばらき病院

TEL(代):072-623-0234 FAX:072-623-7906 住所:〒567-0888 大阪府茨木市駅前3丁目6-23

